

平成 30 年 5 月 2 日

平成 30 年度横浜国立大学都市科学部 AO 入試（都市基盤学科第 2 次選抜）
記述式評価シートにおける出題ミスについて

横浜国立大学

平成 29 年 11 月 18 日（土）に行いました「平成 30 年度横浜国立大学都市科学部 AO 入試（都市基盤学科第 2 次選抜）」記述式評価シートにて出題した数学の試験問題において、募集要項に記載した範囲外の出題があることが判明しました。

受験者をはじめ関係者の皆様に多大なご迷惑をお掛けしましたことに対し、深くお詫び申し上げますとともに、今後このようなことが起こらないようチェック体制を一層強化し、再発防止に万全を期する所存です。

1 選抜区分の概要

- (1) 選抜区分 都市科学部 AO 入試（都市基盤学科 第 2 次選抜）
- (2) 試験実施日 平成 29 年 11 月 18 日（土）
- (3) 試験科目名及び時間
数学 10 時 10 分～11 時 10 分
- (4) ミスのあった科目の受験者数
受験者数 21 名

2 ミスの概要

記述式評価シートにて出題した以下の問題が、募集要項（次ページ参照）に記載した出題範囲外である『数学活用』にて扱われる「行列」の問題であった。

- (5) 行列 $A = \begin{pmatrix} 4 & -2 \\ 1 & 1 \end{pmatrix}$ の固有値は（キ）と（ク）であり、 n を自然数として A^n を求めると、（ケ）となる。

3 受験者に対する対応

この出題ミスに対する対応について協議した結果、受験者全員を正解とし、そのうえで合否判定を再度行いましたが、影響のないことを確認しました。

本件担当：横浜国立大学学務部入試課
電話 045-339-3120

平成 30 年度
都市科学部
A O 入試
学生募集要項
(抜粋)

横浜国立大学都市科学部

平成 29 年 7 月

都 市 基 盤 学 科	選抜のポリシー
	<p>美しい国土と安全・安心・快適な都市をつくりたい意思が明確であり、それを実現するエンジニアとして活躍するために必要な理数基礎学力を有することを重視します。</p>
	選抜方法
	<p>【第1次選抜】</p> <p>書類選抜とします。以下の書類により、都市基盤学科への熱意と適性の評価を行います。</p> <p>(1) 自己推薦書（本学様式）</p> <p>都市基盤学科に対する熱意を、以下の点についてそれぞれ指定された字数で記述してください。</p> <p>図を入れても結構ですが字数に含みません。文書・図は手書きが条件です。</p> <p>① 都市基盤学科を志望する理由 <small>（自分の能力や実績、社会や技術に対する自分の考えなどとの関係から記述してください。）</small> ……400 字程度</p> <p>② 都市基盤学科を卒業した後の自分の姿 ……200 字程度</p> <p>③ 自分の特徴（良い点、悪い点） ……200 字程度</p> <p>④ いままで勉強以外で力を入れてきたことや得意なことなど ……200 字程度</p> <p>(2) 調査書等</p> <p>都市基盤学科への適性を判断するために使用します。</p> <p>【第2次選抜】</p> <p>第1次選抜合格者に対して、記述式の評価シートを参考にした口頭試問による学力・適性検査を課します。評価シートは、口頭試問に先立って記述し、自己プロフィール、数学、物理に関連する基本的な設問に対して解答するものです。</p> <p>口頭試問では主に、志望動機等に関する質疑、数学・物理及びそれらに関連する総合的な能力の検査、物理的・社会的現象を対象とした課題に関するプレゼンテーションとそれに関する質疑を行います。ここで数学とは、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bの全範囲、物理とは、物理基礎、物理の全範囲を含みます。</p> <p>学力・適性検査の詳細は、第1次選抜の合格通知に同封します。</p> <p>【最終合格者決定】</p> <p>第2次選抜時の試験の結果により、最終合格者を決定します。なお、選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>なお、大学入試センター試験は課しません。</p>